

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 15 日 (2014.5.15)

【公開番号】特開 2011-221528 (P2011-221528A)

【公開日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2011-044

【出願番号】特願 2011-76639 (P2011-76639)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

B 3 2 B 27/34 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16

B 3 2 B 27/34

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 28 日 (2014.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

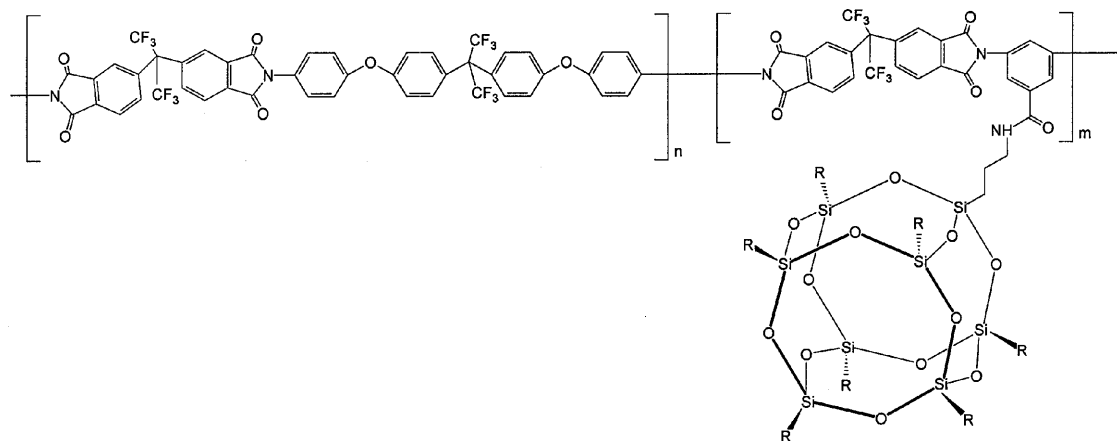
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板層と、

次式で表されるポリイミドポリマーを含む、前記基板層に配置されている表面層と、



〔式中、R は、アルキル、アリアル、又はこれらの混合物であり；n は、前記ポリイミドポリマーの約 50 モル％～約 99 モル％であり、m は、前記ポリイミドポリマーの約 50 モル％～約 1 モル％である〕

中間転写体の重量に対して約 1 重量％～約 60 重量％のカーボンブラックを含有する導電性添加剤と、

を含む中間転写体。

【請求項 2】

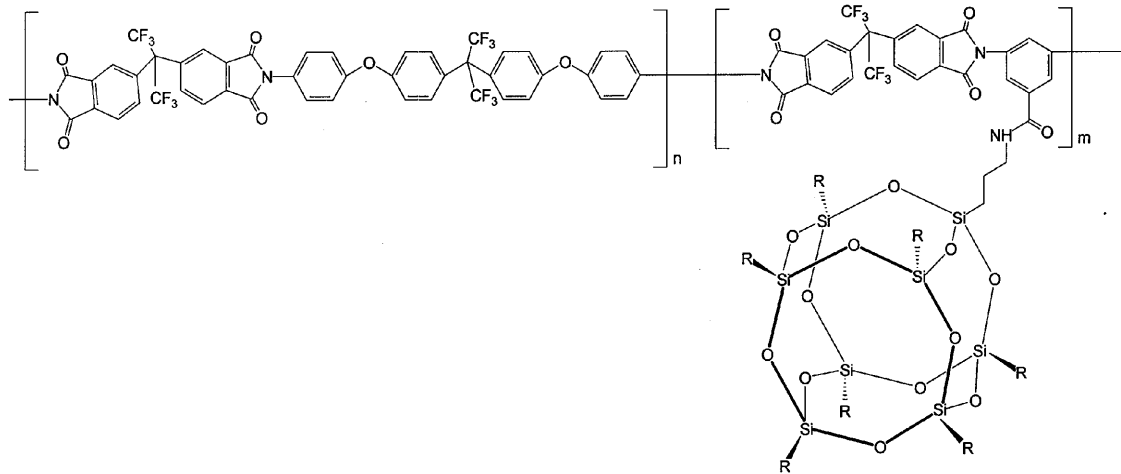
請求項 1 に記載の中間転写体において、

前記アルキルは、イソブチル、イソオクチル、シクロヘキシル、シクロペンチル、およ

びメチルからなる群より選択される少なくとも１種であり、前記アリールは、フェニル、ドデカフェニル、フェネチル、およびフェネチルイソブチルからなる群より選択される少なくとも１種である、中間転写体。

【請求項３】

次式で表されるポリイミドを溶媒に溶解し、



〔式中、Rは、アルキル、アリールなど、又はこれらの混合物であり；nは、前記ポリイミドの約５０モル％～約９９モル％であり、mは、前記ポリイミドの約５０モル％～約１モル％である〕

前記溶解したポリイミドを、カーボンブラックを含有する導電性添加剤とともに粉碎して、分散物を作成し、

前記分散物を基板層にコーティングし、該分散物を硬化させて、中間転写体を作成する、中間転写体の製造方法。

【請求項４】

ポリイミドポリマーを含む底部層と、

ヘキサシラン接触角が約２０°～約４５°である多面体オリゴマーシルセスキオキサン（ $\text{POSS}$ ）フルオロポリイミドポリマー、および表面層の重量に対して約５重量％～約２０重量％のカーボンブラックを含有する導電性添加剤を含み、前記底部層に配置されている表面層と、

を含む、中間転写体。